

スティーヴン・クレスゲ&ライフ・ウェナー著、嶋津格訳  
『ハイエク、ハイエクを語る』（2000年、名古屋大学出版会）

## 正誤表

場所：45頁、後5行目（「後」は後ろから、特に明示がなければ前から、の行数）

誤：——〔英国における〕ヘンリー・ジョージ学派のドイツ版で、あるダマシユケという名の男に率いられていた——

正：——〔米国における〕ヘンリー・ジョージ学派のドイツ版で、あるダマスカスから来たシリア人に率いられていた——

コメント：①ヘンリー・ジョージは米国人で、影響も米国で広がりました。②「led by one Damaschke」はこれで正しいでしょうか。ご存知の方、お教えてください。

場所：45頁、後1行目

誤：その理論

正：その提案

コメント：「it」が指しているのは、リカードの「理論」ではなく単一税の「提案」。

場所：61頁、7行目

誤：すべての基礎的〔社会制度〕を・・・

正：すべての基礎〔的社会制度〕を・・・

場所：84頁、4行目

誤：法定弁論家

正：法廷弁論家

場所：90頁、8行目

誤：集合的量

正：集計量

コメント：経済学ではこう言うそうです。

場所：91頁、4-6行目

原文：...so it was on the whole quite complementary, although it criticized the main point. The theory was out, so when the second part came out, Keynes

told me,...

誤：だから私の書評は、〔『貨幣論』の〕中心的主張を批判していますが、全体としてはそれをむしろ賞賛するものだったのです。〔私の〕理論が世に出、つまり〔その〕後半部分が出た時、ケインズは私に・・・と言ったのです。

正：だから私の書評は、全体としては『貨幣論』を賞賛するものでした。しかしそれは〔『貨幣論』の〕中心的主張を批判しています。理論がダメでした。だから〔書評の〕後半部分が出た時、ケインズは私に・・・と言ったのです。

コメント：この部分は大きな誤訳です。加藤寛孝先生の指摘による。

場所：113 頁、後 3 行目

誤：あながたは、

正：あなたがたは、

場所：146 頁、後 3 行目

誤：彼はお門違いの方から私たちを攻撃している。

正：彼は私たち〔の理論〕を考慮の外に追いやっている。

場所：186 頁、後 5 行目

誤：集合量

正：集計量